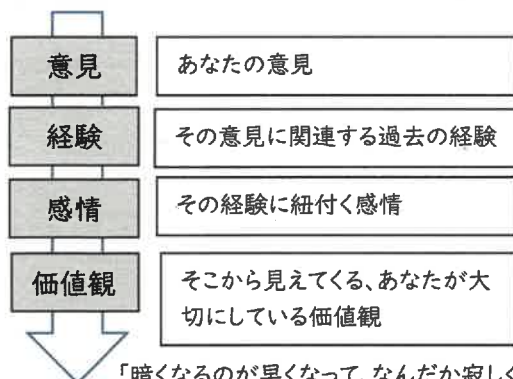


高森高校進路通信 - Upgrade 秋号 -

文責 進路指導部

Ⅰ. 2学期が始まって・・・

2学期が始まって、はや3ヶ月が経とうとしています。今年度も折り返しです。この2ヶ月を振り返ると、日頃の学習活動はもちろん、体育祭や就職・進学試験（3年生）、ライフプランニング授業（2年生）、草原学習（1年生）、インターンシップ（1・2年生）と様々な事柄に取り組んできました。今年度の残りの日々を充実させるために、自分自身やこれまでの取組について丁寧に振り返る時間をもつことをオススメします。今回は、振り返りの際に有効なものの一つとして「言語化する」ということを挙げたいと思います。単に「言語化」と言っても難しいと感じる人がいるかもしれません。今回は昭和女子大学キャリアカレッジ学院長の熊平美香氏が考案した「認知の4点セット」を用いて、考えや思いを言語化する体験してみましょう。



季節も変わり目のため、テーマは「秋」とします。まず、「秋」についてどんな意見を持っているか考えます。好きか、嫌いか。秋が好きなのは、たいてい秋についてのポジティブな経験があって、「楽しい」、「ワクワクした」といった感情が紐付いています。そのような人は「友達と一緒に過ごす時間が大切だ」という価値観をもっていたり、ネガティブな連想をした人は

「暗くなるのが早くなって、なんだか寂しく感じてしまう」などという価値観を抱いてたりします。ある事柄に対する自分の「意見」、意見に紐付く「経験」、その時の「感情」、そこから見える「価値観」を言葉として書き出してみると、自分自身と深く向き合えるとともに、自分の考えや意見を的確に伝えることができるようになります。特に3年生はこのことの大切さを実感しているはず。1・2年生は機会をみつけて3年生と話しをしてみてください。今後の高校生活が実り多いものになるはずです。



草原学習
茅を使ったワークショップ



インターンシップ①
10/18～10/20の期間、高森・南阿蘇中心の事業所で職業体験をしてきました。



インターンシップ②

Ⅱ. 3年生の今

9月から就職希望者の就職希望先への応募や試験が実施されました。また、進学希望者の総合型選抜の出願・受験も開始し、内定や合格をいただいた生徒もいます。進路決定を果たした生徒は、今から受験する仲間の支えとなったり、後輩たちのためにできることを探したりしてください。今から受験に臨む生徒は、自分を信じて現在取り組んでいる学習を続けてほしいと思います。「諦めたらそこで試合終了ですよ by スラムダンク 安西先生」

ところで、1・2年生のみなさんは受験方法についてどのくらい知っていますか？就職は原則学校長推薦での受験となります。下の表は進学における選抜方法や今年度の3年生の選抜方法別割合を示したものです。選抜方法の特徴や3年生が探究活動を通して培った力を活かして受験に臨んでいることがわかると思います。また、熊本県教育委員会、草原校長先生、進路指導主事で進学や本校の探究活動についての動画を作成しました。TPCで放送予定していますので、そちらも視聴してください。また、後日、動画のURLをお知らせします。

選抜種別	特徴	R5.3年生の割合
一般選抜	国語、数学、英語などの学科試験 面接や小論文が課されることもある	14.3%
総合型選抜 (AO入試)	進学希望先の要件を満たせば誰でも出願可能 進学希望先の求める学生像に合致していることが重要 将来の目標やビジョンが明確な人向け 面接や小論文、学科試験等	21.4%
学校推薦型選抜	学習成績等に関する大学からの要件と学校長の推薦が必要。学習や部活動、校外活動等で優秀な成績を収めた人向け。 指定校推薦もあり（私立のみ）	64.3%

*一般選抜は大学入学共通テスト受験者を記載しています。

Ⅲ. 1年生・2年生の今～南郷学での探究活動開始!

学年の垣根を越えて、地域貢献活動を図る「南郷谷役場高森高校支所」としての活動が始まりました。探究のサイクル①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現を各局で協働的に取り組んでほしいと思います。ただし、あくまで目的は「地域貢献活動」です。活動から得られるワクワク感や達成感が必要ですが、地域貢献になっているか（なるか）という視点は常に持ち続けてください。来月の12月23日（土）にはグランメッセ熊本で「第2回県立高校学びの祭典」が開催されます。みなさんの頑張りを紡ぎ、高森高校の魅力を発信していきましょう。

